

質問に対する回答書49
東京外環自動車道 八潮パーキングエリア工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	東京外環自動車道 八潮入谷地区橋梁修正設計検討業務(下部工計算書)(27/156)	PA-AB-A1橋台の基礎工・加重平均N値の計算において、2)杭一般部 N×L欄の3、4行目に粘性土3.86 砂質土0と記載されておりますが、土質、N値、土質別層厚の欄が正しいとすると、砂質土3.86 粘性土0となり加重平均値が変わると思われま。正しい数値をご教示願います。	数量計算書は参考資料であり、PA-A_A1(PA-B_A1)橋台の土質、N値等は、下部工設計図(20/138) PA-A_A1(PA-B_A1)橋台 鋼管ソイルセメント杭詳細図 でお考えください。
2	東京外環自動車道 八潮入谷地区橋梁修正設計検討業務(下部工計算書)(3、27/156)	PA-AB-A1橋台の基礎工・加重平均N値の杭一般部計算書において、粘性土の加重平均N値2.0、れき質土の加重平均N値50、全体の加重平均値35.4と記載されておりますが、数量集計表(その2)には粘性土の加重平均N値の記載がありません。どちらが正しいかご教示願います。	数量計算書は参考資料であり、PA-A_A1(PA-B_A1)橋台の土質、N値等は、下部工設計図(20/138) PA-A_A1(PA-B_A1)橋台 鋼管ソイルセメント杭詳細図 でお考えください。
3	図面 下部工設計図 東京外環自動車道 八潮入谷地区橋梁修正設計検討業務(下部工計算書) 東埼玉道路 八潮地区橋梁設計検討業務(下部工計算書)	各下部工における鋼管ソイルセメント杭詳細図、杭構成図の固化体先端部の土質記号が全てEdsとなっております。一方、東京外環自動車道の数量計算書ではれき質土と記載がされており、東埼玉道路の数量計算書では砂質土と記載されています。どちらが正しいかご教示願います。	数量計算書についての質問はお受けできません。
4	図面 溝渠工設計図(39/39)	鋼管ソイルセメント杭詳細図中の杭・鋼管詳細図には、下部工設計図 鋼管ソイルセメント杭詳細図 杭構成図に記載されている土質記号、層厚、設計N値の記載がありませんのでご教示願います。	溝渠工設計図(1/37) C-Bx-9.80×6.40×59.97 一般図(その1) でお考えください。
5	東京外環自動車道 八潮地区連絡等施設詳細設計業務数量計算書 真空圧密工法 各工区数量計算書	真空圧密工法 各工区数量計算書PDF(42/72)の表において、地中変位計設置が0箇所となっておりますがボーリングの延長、仮設、現場内小運搬の数量が記載されております。表の記載の通り地中変位計設置は0箇所でよろしいでしょうか。ご教示願います。	数量計算書は参考資料であり、真空圧密工法 ⑤工区(8/9) 軟弱地盤対策工 ⑤工区 動態観測機器配置平面図(半自動) に示す通り、⑤工区は地中変位計設置はありません。
6	東京外環自動車道 八潮地区連絡等施設詳細設計業務数量計算書 真空圧密工法 各工区数量計算書	真空圧密工①～⑨工区の有孔集水管、主分離タンク部、副分離タンク部に掘削、埋戻しの記載がございますが、それぞれの工区において土質分類の記載がありません。①～⑨工区におけるそれぞれの土質分類をご教示願います。	①～⑨工区いずれも、表層排水工Bの施工箇所における作業を想定しているため、土砂A相当を想定しています。
7	特記仕様書26-38 図面 附帯工設計図 東京外環自動車道 八潮地区連絡等施設詳細設計業務数量計算書 附帯工数量計算書	耕地表土工の単価表の項目の種別内容について、畦畔の復旧と記載されております。一方、図面 附帯工設計図(29、30/45)及び、附帯工数量計算書PDF(27～32/32)には記載がありません。畦畔復旧の数量計算書、図面をご教示願います。	畦畔の復旧範囲については、附帯工設計図(29/45) 耕地表土復旧計画図(その1)および附帯工設計図(30/45) 耕地表土復旧計画図(その2)からお考えください。 なお、畦畔の復旧形状は、幅0.6m 高さ0.3m 延長191.5mを想定しています。
8	図面 附帯工設計図 東京外環自動車道 八潮地区連絡等施設詳細設計業務数量計算書 附帯工数量計算書	図面 附帯工設計図(29、30/45)及び、附帯工数量計算書PDF(27～32/32)に表土の復旧と記載されておりますが、表土の土質分類についての記載がありません。ご教示願います。	土砂Cを想定しています。
9	図面 東埼玉道路(第2期迂回路)設計図 東京外環自動車道 八潮地区連絡等施設詳細設計業務数量計算書 照明工数量計算書	図面 東埼玉道路(第2期迂回路)設計図(29/39)の照明工計画図において、掘削、埋戻しの記載がありますが種別に土砂の分類の記載がありません。ご教示願います。	掘削については土砂Ⅲを、埋戻しについては土砂Ⅰ相当を想定しています。

10	特記仕様書26-43 東京外環自動車道 八潮地区連絡 等施設詳細設計業務数量計算書、 連絡等施設詳細設計撤去工数量計 算書、第2期工事用道路撤去工数量 計算書、真空圧密工法撤去工数量 計算書	撤去工の種別における単価表の区分内容について、各項目に埋戻しの記載がありますが、掘削の記載がございません。例えば、連絡等施設詳細設計撤去工数量計算書(P1-9-82)細別Bf・0.350・0.235の名称、規格に掘削(土砂Ⅰ)、埋戻し(流用土)(搬入土)と記載されておりますが、該当する特記仕様書P68 26-43-2種別 単価表の項目Bf・a・bの区分内容には埋戻しのみで掘削の記載がありません。単価の区分内容に掘削が含まれるか否かをご教示願います。	附帯工設計図 撤去構造物詳細図の材料表に掘削が記載されている単価項目については、掘削を含みます。
11	図面 附帯工設計図(11/45)	立入防止柵Bの材料表について、立入防止柵の数量が5mになっていますが、10mの誤りではないでしょうか。正しい数量をご教示願います。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
12	図面 附帯工設計図(18/45)	ガードレール撤去 Gr-Cm-2B、Gr-C-2B(A)のプレキャスト基礎の参考重量が778kgと記載されておりますが、図面より400×400×450の1基当たりの数量を推定すると相違があると思われます。1基当たりの正しい参考重量をご教示願います。	1基当たりの重量は778kgです。
13	東京外環自動車道 八潮地区連絡 等施設詳細設計業務数量計算書 連絡等施設詳細設計擁壁工数量計 算書	擁壁工数量計算書(1-6-3)EPS工数量総括表 構造物掘削及び(1-6-22)FCB工の構造物掘削について、土質の種類は土砂B、区分は陸上掘削と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	その通りお考えください。
14	図面 軽量盛土工設計図(13~49 /126)	軽量盛土工の壁面材の材料費について、各ランプで使用する半切型・基本型の枚数の詳細をご教示願います。	軽量盛土工設計図 の壁面展開図を参考にお考えください。
15	特記仕様書26-38	耕地表土工に「遮水シートの処分」と記載されており、遮水シートの処分は廃プラスチック扱いと考えられますが、廃プラスチックの処分施設に関して、特記仕様書19-2に記載がありません。廃プラスチックの処分施設の名称及び所在地をご教示願います。	遮水シートは、建設混合廃棄物として処理することを想定しております。
16	特記仕様書26-39	「大型土のう袋の処分」について、大型土のう袋の処分は廃プラスチック扱いと考えられますが、廃プラスチックの処分施設に関して、特記仕様書19-2に記載がございません。廃プラスチックの処分施設の名称及び所在地をご教示願います。	大型土のう袋は、建設混合廃棄物として処理することを想定しております。
17	特記仕様書26-43-2	撤去工の種別において、夜間作業でコンクリートの取壊し作業がある場合、発生したコンクリート殻は、特記仕様書19-2(2)より、受入時間を考慮して昼間作業での運搬と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	その通りお考えください。
18	特記仕様書26-34-2	矢板工の種別に記載されている異形鋼矢板の材料費は見積を採用されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	その通りお考えください。
19	附帯工設計図 (3,4,8,12,13,14,15,19,20, 25/45) 特記仕様書26-26	「アスファルト舗装版取壊し工」について、路床材撤去の土質区分をご教示願います。	構造物等取壊し工 アスファルト舗装版取壊しにおける路床材の区分は土砂Fを想定しております。

20	特記仕様書26-34	矢板工の「鋼矢板の引抜き部の閉塞」について、回答29の番号1より、鋼矢板の撤去後に砂等により充てんする作業と回答されておりますが、図面⑥-01_軟弱地盤対策工設計図(37~40/50)と数量計算書003-4_真空圧密工法 外周締切矢板工数量計算書に数量、規格の記載がありません。各閉塞部の数量をご教示願います。	「鋼矢板の引抜き部の閉塞」とは、鋼矢板撤去後の空洞を砂等によって沈下等が発生しないよう充てんする作業を想定していますが、閉塞仕様について指定はありません。
----	------------	---	---